

G コマンド (グライド)

[書式]

G<num1>, <num2>

このコマンド以降、音符の発音時、音符の先頭部分に、このコマンドで指定した音程から本来の音程まで直線的に音程を変化させる処理を行います (グライド : Glide)。

<num1>

開始時の音程を指定します。単位は OPM トラックでは半音の 1/64、PSG トラックでは周波数レジスタと同等の値です。設定範囲は -8192 ~ 8191 です。0 で効果オフとなります。

<num2>

音程の増分を指定します。設定可能範囲は 1 ~ 256 です。省略時は 10 になります。この値が 16.384 ミリ秒ごとに加減算されます。

[例]

G-64,6 ; 半音下から元の音に +6 ずつ変化させる
G128,8 ; 全音上から元の音に -8 ずつ変化させる
G0 ; 効果オフ
G80 ; G80,10 と等価

p コマンドやポルタメント(音程指定型)と同時に使用することはできません。後に使用したほうが有効となります。

アルペジオや OPM テーブルと同時に使用すると正常な音程になりませんので、ご注意ください。

関連

p コマンド, ポルタメント(音程指定型)